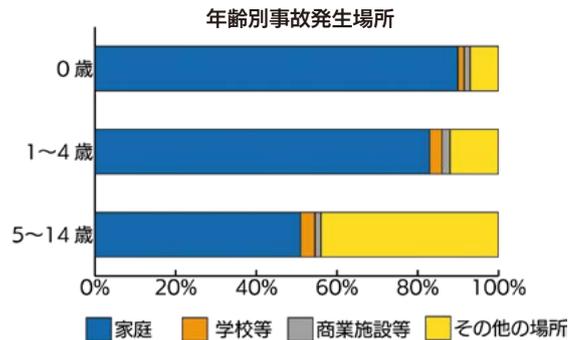


子どもの事故を予防しましょう

みなさん、知っていますか？子どもの事故の大半は家庭内で起きています。子どもは運動機能の発達とともに、大人が考える以上にいろいろなことができるようになり、その一方で、予期せず様々な事故にあうおそれが出てきます。

年末にむけて大掃除をするこの機会に、身近な事故原因を知り、周りの環境を整備するなど対策していきましょう。



年齢別 身近な事故原因と対策

【0歳頃】

- 誤飲・窒息
- 転倒・転落

何でも口にもっていく時期
手足バタバタから寝返り、
はいはい、つかまり立ちへ

【1~6歳頃】

- やけど
- 転倒・転落

一人歩きのはじまり
何でもやりたがる時期

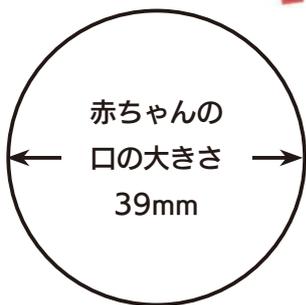
【小中学生】

- 交通事故

友達と外で遊ぶ機会が
増える時期

誤飲・窒息の対策

この丸の中に入るものは赤ちゃんの口に入ります。家で確認してみましょう！



やけどの対策

ストーブ、熱い飲み物や食べ物、アイロン、湯たんぽなどに注意しましょう。



具体的には…

- ・ストーブに柵やガードをつけましょう。
- ・熱いものは子どもの手の届かない場所に置きましょう。

交通事故の対策

子どもの飛び出し以外にも、車や自転車での事故にも注意しましょう。

具体的には…

- ・シートベルトを必ず着用
- ・安全確認をしましょう。
- ・冬は暗くなるのが早いため、反射素材を身につけましょう。
- ・横断歩道をわたりましょう。

転倒・転落の対策

階段、窓、ソファ、ベッド、浴槽、洗濯機などに注意しましょう。



具体的には…

- ・安全マットを敷いたり、ベビーゲートをつけましょう
- ・踏み台やおもちゃは使い終わったら片付けましょう。

もっと知りたい方は、こども家庭庁が発行する「こどもを事故から守る！事故防止ハンドブック」をご覧ください。

